

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 50
2009 秋

Director's Report

William Somes

Interim Resident Director
of The Japan Center For Michigan Universities

My name is William Somes and I am currently the Interim Resident Director at JCMU. I graduated from Central Michigan University which is one of our 15 consortium members. I am enjoying my time at JCMU and want to express my sincere gratitude to the people of Hikone City and Shiga Prefecture for their warm hospitality and kindness.

I arrived in Japan in late May just after JCMU's 20th anniversary celebration and right before the start of the Japanese language summer program. The English language spring program at JCMU was already well under way when I started and our intensive summer program went quickly. I am proud to announce that all sessions were a great success and both our Japanese and English students had wonderful experiences during their studies at JCMU. The summer program concluded with a BBQ and introduced the students to Suikawari (watermelon smashing with a large stick) after their final exams. Our closing ceremony was on August 1st followed by a beautiful display of the Hikone fireworks that night.

August was a quiet month at JCMU with no students on campus, but the Center's staff kept busy preparing for fall programs. Maibara High School students attended a one week intensive English language course starting August 31st and the Japanese Language students arrived September 1st, so JCMU is once again full of life with approximately 47 students. This fall our English Language program begins on September 14th with classes held in Hikone and at our satellite classes in Otsu on Wednesday nights. Our Japanese Language program offers elective courses in Religion at the University of Shiga Prefecture, Economics and Business at Shiga University, an online course by Dr. Douglass Scott of Waseda University about Intercultural Communication and Technology, and a class on Comparative Social Organization and Control between Japan and the United States taught at JCMU by our visiting scholar from Grand Valley State University, Dr. William Crawley.

I believe our fall programs have gotten off to a great start and we look forward to another successful semester for all of our students. Thank you.



ウィリアム ソームズ
ミシガン州立大学連合日本センター所長

私は、JCMU所長のウィリアム・ソームズです。ミシガン州立15大学のうちの1つであるセントラル・ミシガン大学を卒業しました。JCMUでの時間を楽しませていただいております、彦根市や滋賀県の人々の親切さに心より感謝しています。

私は、丁度JCMU創立20周年記念行事の後、5月の終わりに日本に来ました。その時には英語プログラムの春学期はすでに始まっていて、間もなく日本語夏学期も始まりました。どのコースも順調で、留学生、日本人学生ともJCMUでの学習を通して素晴らしい経験をしました。夏学期の終わりは、バーベキューとスイカ割りをしました。8月1日の修了式の後、夜には美しい花火を見ることができました。

8月は、学生がいなくて静かでしたが、スタッフは秋学期の準備で忙しくしていました。米原高校生が8月31日から1週間の集中講座を受けました。9月1日には約47人の留学生が来て、JCMUはまたいっぱいになりました。この秋の英語プログラムは、彦根と大津で9月14日から始まります。大津は毎週水曜日です。日本語プログラムでは、選択科目として、滋賀県立大学で「宗教学」、滋賀大学で「経済経営学」、早稲田大学のダグラス・スコット助教授による通信講座で「国際コミュニケーションと技術」、そしてグランド



バレー州立大学のウィリアム・クラウレー客員教授による「社会組織と統制の日米比較」があります。

秋学期も全てのプログラムが順調にスタートし、全ての学生にとって素晴らしい学期が始まるのを楽しみにしています。ありがとうございます。

～ホームステイ～ Homestay

国際交流をするには色々な手段がありますが、最も効果的な方法はホストファミリーになって、数ヶ月間外国人と生活を共にしてみることではないでしょうか。最初は、不安があったとしても、やがて分かり合えるようになるものです。

JCMUの長期ホームステイには、毎回10数軒のお宅に協力をお願いしています。今回は、ホストファミリーの皆さんのお話を伺ってみました。



一期一会

これまで数えきれないほどの外国の方々のお世話をさせていただきましたが、今回初めて2人同時にお引

受けいたしました。お会いするまでは少し不安でしたが、最初の日から、まるで息子たちが久しぶりに帰ってきたような気楽な雰囲気の中で、4人暮らしが始まりました。MSUとSouth Carolina大学という、お互い随分遠く離れた所からやって来て、一緒にホームステイするなんて、とても素敵なことだと思います。JonathanもNathanも明るく優しく心配りのできる子で、主人と私に対しても「お父さん、お母さん」となついてくれて、時には英語で補いながら、毎日賑やかに過ごしました。

ホストファミリーをさせて頂くたびに、1人、2人と子供が増えていきますことは、私たちにとりまして、何物にも替えがたい喜びと幸せで、いつも「一期一会」の気持ちで、ご縁を大切に付き合わせて頂いています。



18年ぶりの再会

今から18年ほど前にホームステイした学生がこの夏日本を訪れ、我が家で再会を果たしました。当時は政治学を専攻する勤勉な学生でしたが、今は42歳の知性溢れる大学教授です。何でも日本の総選挙を調査し、日本の各大学でのシンポに参加するためとか。。その夜は泊まらず帰りましたが、18年前に使用していた部屋のたたずまいを懐かしそうに見つめていました。自分の人生において忘れ得ぬ地であり、忘れ得ぬ人々であると、しきりその思いを語って、最終便で帰って行きました。だから、ホストファミリーはやめられないのです。



ホストファミリーの資質

英語ができない、外国人が苦手でもいいんです。声を大にしていいです。私もいまだにコンプレックスです。はっきりいって、面倒くさいことには関わりたくない性格です。ですが、なぜかずっと学生を受け入れたり、海外で生活しに行ったりしています。永遠の謎です。私と同じように、うーんと苦手なんだけど、ちょっと興味あるし、どうしよう……。みたいな感覚で登録または問い合わせされている方。それで十分だと思います。

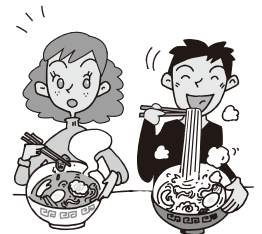


～日本語発表会～

日本語 / 日本文化プログラムでは、各学期の終わりに、学生が1人ずつ体験したことや調べたことを日本語で発表する日本語発表会があります。

下の写真は、夏期集中講座の2年生（中級クラス）の日本語発表会のものです。メイニーさんは、日本の七夕祭りがとても楽しかったそうです。浴衣姿で祭りの様子を話しました。日本とアメリカのマナーの違いに驚いた学生や（例えば、日本では歩きながら食べるのは行儀がよくないこと、ソバは音をたてて食べても構わないこと、日本人は人の話を聞く時に目を見ないことなど）、ホームステイで印象に残った体験を話した学生や（日本の家庭では家族で同じ皿の料理を分けて食べるのに驚いたことなど）、京都や奈良への旅行に行ったときのハプニングなどを発表した学生もいました。3年生（上級クラス）の方になると、鎖国によって生まれた文化、日本のキリスト教の歴史についてなど、日本人にとっても難しそうなテーマもありました。

みんな、始業式の頃が嘘のように、日本語が上達しました。



～はじめまして、Crawley先生！～

今学期の客員教授は、William R. Crawley先生です。若くてハンサムで爽やか。グランドバレー州立大学の副学部長で、今学期は「社会組織と統制の日米比較 Comparative Social Organization and Control between Japan and the United States」という講義をされますが、専門は犯罪学criminologyだそうです。どんな内容なのか、聞いてみました。



…犯罪学というと、日本では、エッと怖がられたりするんですが、アメリカではポピュラーな学問分野です。大学で教鞭を執るかたわら、アメリカ連邦政府の法務省の仕事もしています。犯罪学を研究するためには、歴史や文化や医学や心理学など多くのことを知っておかなければなりません。色々な国の警察制度や刑事裁判制度などを研究していて、日本には12年程前に一度来ました。が、日本語はほとんど忘れてしまいました。アメリカと日本の社会を比較すると、アメリカでは警察官や裁判制度などが大きな役割を果たしているのに対し、日本ではそういう公式なものにばかり頼るのではなく、非公式にものごとを解決することも多く、それは文化の違いによるものです。今学期の講座では、そのような違いを考えていきたい、と思います。…

《2009年度秋学期スタート》

大きな期待と小さな不安に胸を膨らませ、今年度の秋学期に来日したアメリカ人留学生は、男子32名、女子15名、計47名。日本語だけでなく、歴史、化学、情報科学など、それぞれ学生の専攻は多様ですが、皆これからここで共に日本語と日本文化を勉強することになります。9月8日(火)には、大勢の来賓のご臨席のもと、始業式が催されました。ソームズ所長は、JCMU学生やアメリカ人として恥ずかしくないよう常に心がけながら、時間が許す限り外に出かけて地域の人々と交流し、日本文化を進んで体験をして充実した留学生活を送るよう激励しました。



メルビル奨学基金

滋賀大学で教鞭を採り、JCMUの客員教官でもあった故ハロルド・メルビル氏の功績を讃え設立されたものです。皆様による寄付は、学生がJCMUの日本語・日本文化プログラムに参加する基金となります。

銀行名：びわこ銀行彦根支店

口座番号：(普) 467025

口座名：JCMUメルビル基金(JCMUメルビルキキン)

ホストファミリー募集

当センターでは、アメリカ・ミシガン州をはじめ全米から来日している留学生のホストファミリーを募集しています。長期ホームステイのほか、週末だけの短期ホームステイもあります。まずはバンクに登録していただき、そのあとは都合が合うときに学生の受け入れをお願いしています。1人でも多くの留学生がホームステイを体験できるようご協力いただければ幸いです。

秋といえば、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・、何かを始めようという人も多いのではないのでしょうか。(財)滋賀県国際協会の国際情報サロンでは、県内在住のペルー人画家ホセさんの「ファンタジーの世界～アンデスから別の世界へ～」展を10月7日から11月1日まで開催します。まずは、芸術の秋から、ホセさんが描く「幻想の動物たち」に触れてみませんか。(こ)

JCMU Calendar 2009年度 行事予定

- 10/23 金 公開講座「乙女のアフリカ体験」
- 10/30 金 子ども向けハロウィーン
- 11/13 金 公開講座「ハウス・フィットネス」
- 12/4 金 公開講座「トラベル・イン・ブリテン」
- 12/18 金 日本語プログラム修了式
- 1/4 月 英語プログラム(冬季)開講

《冬季英語プログラムご案内》

●申込締切 2009年12月16日(水)

彦根コース

開講期間：2010年1月4日(月)～3月19日(金)

場所：ミシガン州立大学連合日本センター
(彦根市松原町〔彦根ビューホテル南隣〕)

◎英語集中コース／月～金 10:00～12:00 13:10～15:10
留学・進学・転職・自己啓発のための英語総合力アップを図るコースです。午前中のみ受講できるモーニングコースもあります。

※アメリカからの留学生向け付属寮にルームメイトとして入寮できます。

◎スキル・テーマ別コース／週1～2回 10:00～12:00 13:10～15:10
「マルチスキル」「スピーキング・リスニング」など、目的・時間にあわせて実力アップを図るためのコースがあります。

◎夜間コース／月・木 週2回 19:00～20:30
実用英会話ブラッシュアップのための夜間コースです。

大津コース

開講期間：2010年1月6日(水)～3月17日(水)

場所：ピアザ淡海
(大津市におの浜一丁目〔びわ湖ホール東隣〕)

◎〈大津マルチスキル〉／毎週水曜日 14:00～16:00

◎〈大津夜間コース〉／毎週水曜日 19:00～20:30

ミシガン州立大学連合 日本センター

〒522-0002

滋賀県彦根市松原町網代口1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所